

データ保護や認証に **無意味化** という新発想を

日々、至る所で発生する膨大なデータ。そこから発生する「情報の安全」は、従来の技術では守りきれない現実があります。

情報を守らず、無意味化してリスクを排除する。

そんな新しい発想のデータ保護を実現するのが、無意味化ソリューション『ZENMU』です。

「情報は必要な時だけ情報として利用し、不要な時は無意味化しておく」——

これがZENMUの考える新時代のセキュリティです。

ZENMU Engine の適用例

1 家や車のキーをウェアラブルデバイスに分散



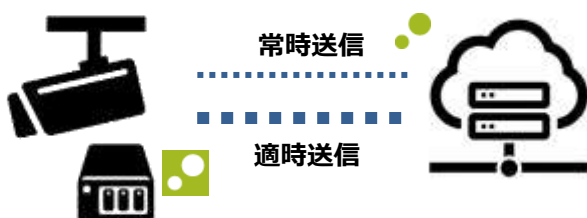
家や車に保管されている分散片とウェアラブルデバイスの分散片の2つが復号しないと解錠しない

2 あらゆる家電の制御データの分散や認証



制御や認証データを複数の無意味化データにして別々に送信することで、改ざんリスクを防ぐ

3 IoT機器のデータ収集での通信コストの削減



エッジデバイスでの発生データを一片だけを常時収集し、大きな分散片は必要な時に収集

4 安心・安全なパブリッククラウドの利用



データの一部やアクセス分散キーを各自がもつことで、クラウド上にプライベート領域を確保

ZENMUエンジンをSDK（ソフトウェア開発キット）として提供

ZENMUのエンジンを各企業や開発者の方々の自由な発想の元でご利用いただき、ZENMUが提唱する「情報の安全」を多くの皆様に享受いただけるよう、ZENMU Engineとして提供しています。

ZENMU Engineでは、ファイル単位での無意味化に加え、任意データの入出力にも対応可能です。

ZENMU Engineの利用により、IoTやFintech分野での情報漏洩対策や重要データの送受信などに加え、認証分野での利用やブロックチェーンとの組み合わせにより、より高度なセキュリティの実現が可能です。

また、Java版の利用により、教育分野やモバイル環境でのより安心・安全なAndroid端末の提供やWebサービスに、簡単にZENMUの無意味化ソリューションの適用が可能となります。

ZENMU Engine ラインナップ

■ ファイル単位の秘密分散

ファイルやストリームの秘密分散処理を行い、任意の割合で複数の分散ファイルに保管する機能。複数の分散ファイルから復号化処理を行い、元のファイルに戻す機能。

Windows/Linux版およびJava版を提供。

■ ドライブ単位の秘密分散

仮想ドライブのイメージを2つに分割し、分散ファイル1をSSD/HDD上に、分散ファイル2をメモリー上に保持。

仮想ドライブを表示し利用可能にする（マウント）/非表示し利用不可にする（アンマウント）機能。分散ファイルの不整合を解消するためのロールバック機能。マウント中に分散片のスナップショットを取る機能（コミット）。最後にアンマウントした時点または最後にコミットした時点どちらか新しい状態に戻す機能。

Windows 8.1およびWindows 10に対応。

■ 秘密分散ストレージシステム

秘密分散サーバ上に構築された仮想ドライブを秘密分散し、ネットワーク上のストレージにシェア(分散片)を保管。仮想ドライブの必要な部分のみを秘密分散処理するため、高速処理が可能。

利用者からは、ファイルシステムとして見える。

Linux対応。

■ 秘密分散データベース

既存DBシステムの変更不要で高セキュア化を実現。

利用者は、秘密分散サーバ内にある仮想ドライブ上に構築されたデータベースに従来通りアクセス可能。

秘密分散サーバ内にはデータそのものは存在せず、物理的に異なるストレージサーバ上にシェア(分散片)の形で存在し、秘密分散ドライブを通さないと、実データにアクセスすることはできない。

Linux対応。

提供方法および費用

提供方法および費用については、SDKを利用して提供するソリューション・サービス会社のビジネスモデルにより検討いたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ



株式会社ZenmuTech

住所 東京都中央区銀座8-17-5 THE HUB 銀座OCT 804
TEL 03-6260-6195 Email : info@zenmutech.com
<https://zenmutech.com>